

C-OPLL

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)  
分担研究報告書

頸椎後縦靭帯骨化症(OPLL)の手術成績に関する前向き多施設研究

研究分担者 海渡 貴司 所属機関名 大阪大学

研究要旨

脊椎 OPLL に対する手術治療は大きく前方法、後方法に分けられるが、その長短はまだ不明な点が多い。これまでの手術成績に関する報告は後ろ向きの研究に基づくものが大半であり、今後、より正確な予後予測や合併症発生率、危険因子の調査のためには、より多い症例数での前向き調査が必要となってくる。全国の主要 OPLL 治療施設が症例登録を行い、多施設大規模前向きに手術成績や合併症を調査することで、今後の手術治療の安全性向上や治療方法の標準化が期待できる。

A．研究目的

頸椎 OPLL の手術成績に関して、従来の後向き研究に比して、より正確な予後予測や合併症発生率、危険因子の調査を行うこと。

B．研究方法

画像、データシートの提供。2018 年度の新規登録症例数 0 例。(累積 7 例)

C．研究結果

当院では解析を実施せず。

D．考察、

E．結論

F．健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載

G．研究発表

1. 論文発表

2. 学会発表

H．知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得

2. 実用新案登録

3. その他